

5 - 16 京都／名古屋・三ヶ日・静岡・掛川・御前崎間の精密重力結合(2)

Precise Gravimetric Connections Performed among Kyoto/Nagoya, Mikkabi, Shizuoka, Kakegawa and Omaezaki

京 都 大 学 理 学 部

名 古 屋 大 学 理 学 部

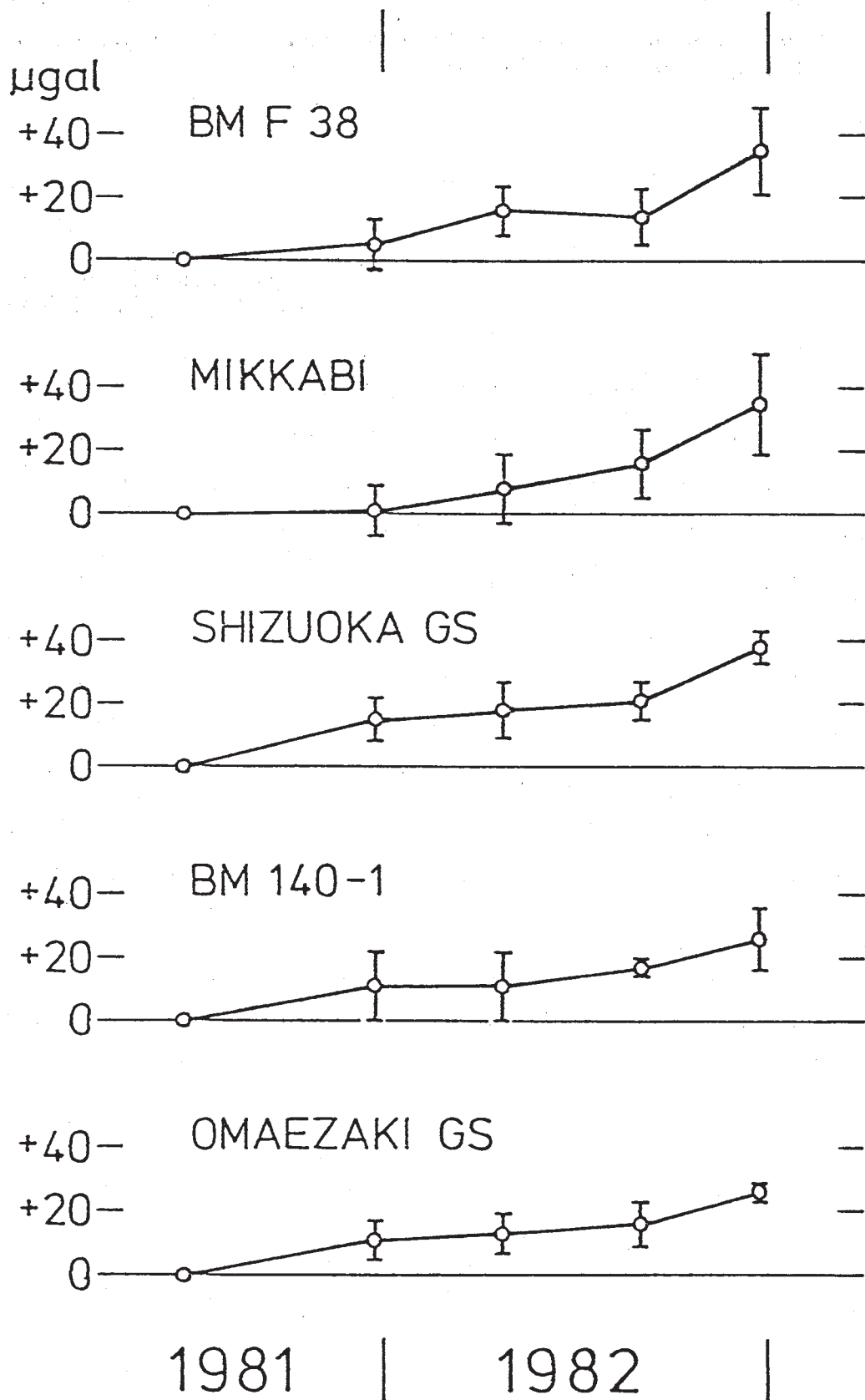
Faculty of Science, Kyoto University

School of Science, Nagoya University

京都大学理学部地球物理学教室の重力基準点および名古屋大学理学部地球科学教室の重力基準点と静岡県内の5点（BM基38, 気象庁三ヶ日地殻歪観測室, 静岡地方気象台重力点, BM140-1および御前崎測候所重力点）との精密重力結合を, 1981年6月に開始し, その後, 1981年12月, 1982年4月, 1982年8月, 1982年12月および1983年4月と, ほぼ4ヵ月ごとに実施している。測定には, ラコスト重力計G-196, G-534, G-605（以上, 京都大学所属）およびG-484（名古屋大学所属）を用いている。

京都大学理学部地球物理学教室重力基準点および名古屋大学理学部地球科学教室重力基準点の重力値を不変と仮定し, 1981年6月を基準とする各測定点の見かけの重力変化を求めてみたのが, 第1図である。第1図をみてわかるように, どの測定点の重力変化もきわめて類似している。このことは, 見かけの重力変化が京都・BM基38間および名古屋・BM基38間で生じ, BM基38・静岡GS・BM140-1・御前崎GS間では, 重力変化がほとんどなかったことを示唆している。

重力結合は今後とも定期的に行なわれる予定であるので, 重力変化についての詳細な議論は, 今後の測定結果を待って試みたい。



第1図 各測定点で得られた見かけの重力変化

Fig. 1 Apparent gravity changes observed at Mikkabi, Shizuoka, Kakegawa and Omaezaki.